

研究講習事業報告

学発番 学19-020

事業名： 臨床化学免疫血清研修会

日時： 令和元年6月25日（火） 18：30～20:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題： 若手技師に向けた臓器シリーズ～肝臓編

講師： 土田 貴彦 氏（アボットジャパン株式会社 学術情報室）

参加数： 総数：34名（京臨技会員：31名）

報告者： 藤田 あゆみ(京都中部総合医療センター)

以下、講演内容など

今回は、「若手技師に向けた臓器シリーズ～肝臓編」としてアボットジャパン株式会社の土田 貴彦 氏より解説していただきました。第1部では、肝臓の基礎知識と肝炎ウイルスマーカーの特徴、ピットフォールについて、肝臓の役割や構造の基礎から、肝炎ウイルスマーカーの種類と特徴、さらにウイルス検査試薬の比較検討の説明がありました。検査試薬の種類によって捉えている抗原の違いなどから、結果に乖離があることを周知する必要性を再確認しました。第2部では、B型肝炎およびC型肝炎の治療ガイドラインについて、抗ウイルス療法やHBV再燃対策など日本肝臓学会作成のガイドラインを紹介していただき、フローチャートの見方と治療経過について解説いただきました。免疫抑制、化学療法により発症するHBV再燃について院内での対策について各施設で確認が必要とのことでした。また、HBs抗原量やウイルス量の推移を見ることで治療効果の確認を行い方針も決まるため、定量値の必要性を感じました。